

# IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第23号 発行：学校法人国際医療福祉大学  
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7108



第3回  
風花祭開催!!  
特集記事  
4・5ページ



## = 目次 =

	ページ		ページ		ページ
出来事	2	紀要委員会	3	医療福祉学科	6
第3回風花祭を終えて	2	国際交流委員会	3	医学教育センター	6
教育後援会		ボランティア委員会	3	語学教育センター	6
第2回会員のつどい開催	2	学科・センターだより	3	健康管理センター	6
国際医療福祉総合研究所		看護学科	3	教員紹介	6
開所式行われる	2	理学療法学科	3	22号のクイズの正解	7
お知らせ	2	作業療法学科	3	当選者発表	7
図書館	2	言語聴覚障害学科	3	編集後記	8
部・委員会報告	2	風花祭	4・5	リレーエッセイ	8
国際部	2	放射線・情報科学科	6	IUHWクイズ	8
教務委員会	2	医療経営管理学科	6		

## 出来事

### ◇第3回風花祭を終えて

大学祭当日、たくさんの人の真剣な顔や笑顔を見ながら、(この笑顔のために半年間がんばってきたのだな。)と考えて、何とも言えない充実した気持ちになりました。この半年間、実行委員会の一員として、風花祭に参加する人に、「参加して良かった、楽しかった。」と感じてもらえるよう努力してきました。けれども、実行委員会のみでの努力では、第3回風花祭の成功は無かったと思うのです。発表参加団体の方や、地域の方々、その他様々な形で風花祭に関わって下さった方々にこの場を借りて感謝の言葉を贈りたいと思います。(大学祭実行委員長 ST2年 野原彩子)

### ◇教育後援会第2回会員のつどい開催

去る10月24日(土)の大学祭に合わせて、国際医療福祉大学教育後援会「第2回会員のつどい」が開催されました。当日は遠方からも多数の会員にご出席頂き、盛会となりました。

まず、元厚生大臣の丹羽雄哉氏による「21世紀の医療福祉政策について」と題した記念講演がありました。高齢社会を迎えた日本のおかれている厳しい現実を再確認させられる辛口の講演となりました。

引き続き行われた学科別の集会では、学生の日頃の生活の様子や報告や活発な意見交換も行われ、会員相互の親睦を深める良い機会となりました。

また来年の「第3回会員のつどい」にもごぞってご参加下さい。(教育後援会事務局)

### ◇国際医療福祉総合研究所開所式行われる

医療福祉分野の研究水準の向上と成果の社会還元を目的として総合研究所が10月1日に設立され、7日に本校で開所式が行われました。式典には、高木理事長、大谷学長、各学部長・学科長はじめ教授陣と中嶋所長(前WHO事務局長)以下研究所スタッフが出席し、高木理事長から研究所設立の趣旨、運営方針が紹介され、大谷学長の祝辞について中嶋所長から研究所のビジョンと基本方針の説明があり、所員一同協力して研究所の発展に努めたい旨の挨拶があり、新研究所は21世紀に向けて第一歩を踏み出すことができました。



(国際医療福祉総合研究所 石原良三)

## お知らせ

### ◇図書館

#### 集密書架の増設

図書館に所蔵している雑誌は、今年発行のものは低い書架に、昨年以前のもは背の高い集密書架に配架されています。9月に集密書架が増設されました。新しい書架に洋雑誌が移りました。和雑誌もかなり場所を変更しました。また、昨年度の雑誌を中心に製本しましたので、だいぶ様変わりしました。これからも図書館をご利用になってください。

話は変わりますが、図書館には現在6名の学生アルバイトさんが働いています。主に返却本の配架をしてもらっています。夜遅くまでがんばっています。

(荒井紫子)

## 部・委員会報告

### ◇国際部

#### ○ケニア医療訓練カレッジ・プロジェクト

高木理事長が11月に開催される襟記プロジェクトの研修会の開会式に出席、かつ特別講演を行うため、約10日間訪ケされました。また、情報教育センターの細井良三先生も講師として参加されました。

#### ○中国リハビリテーション研究センター開設十周年記念式

中嶋宏総研所長、杉原素子教授、井原廣一教授、国際部、長谷川が出席、中嶋所長が大学を代表して、研究費を贈呈、かつ、本学とセンター間の協力協定を締結しました。

#### ○大学パンフレットの中国語への翻訳を終了した。

#### ○大学パンフレットの改訂英語版の作成

各学科、特に、語学教育センターの協力により作成中。(長谷川豊)

### ◇教務委員会

#### 1単位45時間、自ら学ぼう

1単位15時間、30時間、45時間という科目による1単位取得のための時間数の違いに気づいていますか。大学では1単位取得のための時間数を45時間を標準としています。例えば、1単位15時間の科目は残りの30時間は自習を通して学ぶということです。しかし、実際に自習をしなければ15時間の授業だけで1単位取得するということになり、その科目における知識の広がりや深まりは狭いままに終わります。特に教養科目は1単位15時間の科目が大部分ですので、心して自ら学ばないと「教養」が得られないことになります。大学とは、自ら学ぶ術を学ぶところでもあります。(杉原素子)



## ◇紀要委員会

第6回紀要委員会を9月29日(火)、第7回を10月20日(火)に開催いたしました。紀要第3巻の編集作業をほぼ終了しつつありますが、懸案となった論文については次巻に持ち越す事も考えております。

紀要第4巻については投稿希望の調査を行いました。嬉しいことに多数の応募回答がありまして、この分なら順調に編集できそうで胸を撫で下ろしております。皆様の紀要に対するご理解によるものと思います。原稿提出の締切日を来年1月29日としておりますので、投稿予定者は今からご準備願います。投稿規定は既刊紀要の最終ページをご参照下さい。(野原功全)

## ◇国際交流委員会

## (1)国際ボランティア・研修活動の報告

10月5日、報告・提言の会合を開催しました。

10月24～25日、大学祭：E204教室に於いて写真、収集物品の展示、ビデオによる紹介を行い、多数の参観者に活動内容の説明を行いました。

(2)10月19日、留学生との懇親会を開催し、ホストファミリー、関係教員となごやかな時を過ごしました。

(3)2～3月予定のオーストラリア研修について、内容、費用、実施の可能性について検討しています。

(4)委員会開催：8月27日、10月13日、11月10日

(田中美子)

## ◇ボランティア委員会

## 赤い羽根、街頭募金・大学祭での募金

9/29、第4回ボランティア委員会を開催。夏休み中の活動について総括。特に那須水害ボランティアに参加した学生の体験、大学としての自然災害への準備や支援態勢づくりの在り方などが話し合われました。

今後の活動として、学生のボランティア活動に役立てるために地域から関係者をまねいての“ボランティア学習コーナー”の企画について協議しました。

大田原市社会福祉協議会から依頼があり、10/3土曜日午後、市内のスーパーなどで医療福祉学科の2年生9名が街頭募金に参加しました。また大学祭でも福祉サークル“あじさい”が赤い羽根の学内募金を呼び掛けました。(鈴木五郎)

## 学科・センターだより

## ◇看護学科

## 4年生地域看護実習はじまる

9月下旬から4年生の地域看護実習が始まっています。この実習は、行政機関に所属して行われる地域看護を学習するものであり、県内15カ所の健康福祉センターと市町にお世話になっています。

開始日が迫るに従って準備する教員としては、スムー

ズな実習になるかしらと不安でいっぱいになりましたが、「楽しくやっています」という学生の声にホッとしています。地域活動を鳥瞰図的に見てほしい、時間的・空間的に住民の生活を支える地域看護の動きを部分的にしろつかんでほしいと切に願っています。

(福島道子)

## ◇理学療法学科

## 勉学の秋、忙中閑(歎?)有り

大学生生活の総仕上げとでも言うべき卒論の締め切りを目前に控えて、4年生は朝早くから夜遅くまで、土日もなく大学に日参しています。しかし、悲壮感はなく、むしろ楽しんでさえいるようです。3年生は恒例の1000問テスト、PT全教員による口頭試問が毎週続く中で、尾瀬へバスハイクです。晩秋の山里の風情に癒やされたのは学生、それとも教員でしょうか。2年生は初めて患者さんに接する実習の準備に余念が無く、どうやら、後顧の憂いの無いのは1年生のみと言えそうです。(藤沢しげ子)

## ◇作業療法学科

## 4年生総合実習ガンバレ!

11月2日から6週間、全国の病院・施設で4年間で最後の総合実習が始まりました。大学で学んだ知識と大田原で培った体力と、強風にも負けない根性で、最後の最後までやり通してください。無事に戻ってきたら今度は国家試験の準備です。実習で燃えつきても、不死鳥のごとく再び立ち向かっていく諸君へエールを送ります。

2年生、学祭の時は御苦勞様でした。君たちが作業療法について自らアピールできるようになったことは実に喜ばしいことです。次も頼むぞ。(淡口豊太)

## ◇言語聴覚障害学科

## 大学祭について

言語聴覚障害学科では、1、2年生がことばや聞こえに関する展示等を行い、小学生のグループから4世代に渡る大家族まで多くのお客様で賑わいました。とりわけ、目覚まし時計のベルや水の音など、身近な音を録音したオーディオテープを聞いてその音を当てるクイズは大変好評でした。いつも聞いているはずの音を当てるのは案外難しく、答え合わせでは1問ごとに一喜一憂なさる方の姿が多く見られました。また、クイズを準備した学生にとってもことばや聞こえについてあらためて考える良い機会となったことでしょう。



(田中佳代)





◇弓道部  
矢っちゃったぞ弓道部

私たち弓道部は弓と矢を使った的当てを行いました。1日目は予想よりお客さんが少なかったものの、雨が降る中屋外で行っているわりにはお客さんが入ってくれました。しかし、お客さんの射た矢がガラスを割ってしまったため2日目は的当ては行うことができませんでした。そして2日目は景品の駄菓子を買っていた所、なんとお客さんからの当てがやりたいという声が多数集まり、グラウンドでの再開となりました。今回は失敗もあり、周囲のみなさんに迷惑をおかけしましたが、チャンスがあればまたやりたいと思います。



◇ジャズダンス部



◇吹奏楽部

第3回 1998



◇社会福祉研究部（ボランティアサークル紫陽花）  
「あじさい」と「てるてる坊主」の関係

「今年の風花祭は雨で始まるかもしれない」ということで、前日てるてる坊主を作ってみたところ、大当たり。なんと1日目は曇り程度でもってくれました。2日目は快晴となり、気持ちよく屋外でフリーマーケットを開店できました。みんな普段では出さないような大声でお客さんを振り向かせていました。また、この日は精神薄弱者更生施設「太陽の里」の皆さんを招待して、いっしょに模擬店や展示を回ったり、物を売ったりしました。商品もよく売れて、とても良い感じで閉店できました。本当に、てるてる坊主様々でした。



◇少林寺拳法部（外部参加者）



◇心理学研究部

今年の心理学研究部は、「鏡の国のアリス」というテーマに基づいてさまざまな目の錯覚を体験できるものをつくりました。来ていただいた方の多くは、自分の視覚の不確かさに驚いていました。中でも好評だったのは、遠近感がわからなくなるめがねをかけて歩いてもらう迷路でした。体験した人は自分の思い通りに進めず、四苦八苦していました。しかし、こういう反応を示してくれるからこそ、一生懸命作ったかいがありました。来年も私たち心理学研究部はアッと驚かせるようなものをつくっていききたいと思います。





◇手話研究部メビウス おおかみと7匹の子やぎ

手話をほとんどできない私達が劇の練習を始めてから1カ月。何とか手話を覚えてもはずかしくて表情がなかったり、手話が小さかったりで前日まで納得のいく劇はできませんでした。当日も初めはみんな緊張でガナガナ。でも回を重ねるたびに、緊張もほぐれ、アドリブも増えたりして劇をやるのがとても楽しくなりました。劇を通して多くのことを学び、とてもいい思い出になりました。私達1年生に、優しくアドバイスしてくださった先輩方、聞こえない方々、劇を見に来てくれた多くの方々に感謝、感謝です。

◇ハンドベル部

To be continued

第1回より第2回、第2回より第3回…。回を重ねるごとに活気が増す風花祭。地域との親睦、学園祭内容の向上によりこの様な結果に至ったのだと思います。

今年で3回目を迎えたハンドベルコンサートも年々内容も厚くなり、お客様も増えました。(来て下さった方々、本当にありがとうございました。)

風花祭はスタートしたばかりです。これからの学園祭を熱くさせるのは学生1人1人の力です。数年後、数十年後にはどの様な学園祭になっているのか楽しみです。後輩のみなさん、これからも頑張って下さい。



模擬店の様子

3(土)、25日(日)開催

祭

◇CHEER LEADING TEAM "Panthers"

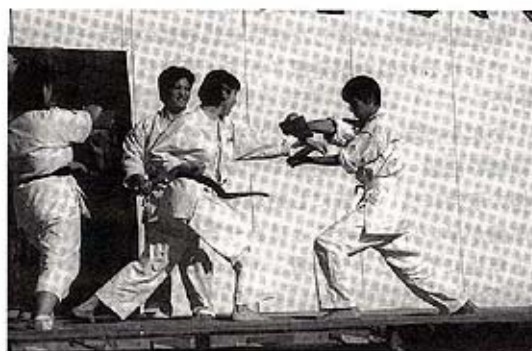
私たちPanthers10名は、6月にチームを結成してから3ヶ月間学園祭に向けて練習に励んできました。その甲斐あって本番では満足いくチアができ、1人1人にチアリーダーとしての自覚が芽ばえてきました。この機会をバネにし、今はまだかけ出しの部ではありますが徐々に活動を広げ歴史ある部にしていきたいと思っています。また、随時部員を募集しているので1度練習を見に来て下さい。(◎◎6時～9時体育館にて)最後になりましたが、両日共に応援して下さいました方々、本当にありがとうございました。

※写真を提供してくれた写真部のみなさんありがとうございます。

◇BEST

祝!! 学祭初参加 BESTの喫茶LOGOS

快晴、青い、そして輝く海。車を降りた若者達は、打ち寄せる波に向かって走りだした。喫茶LOGOSの内装で使う流水を探しに来たのも忘れて…。BESTきっての茶マニアが選ぶ紅茶。ケーキ、広告、ゴスペル演奏でも、メンバー1人1人の個性が光る。学園祭では多くの発見がありました。意見の対立で大変な中、原石だったものが磨かれました。喫茶店として、サークルとして。沢山ある反省材料を生かして来年はもっといいものを創ります。ノれたけどとてもうれしい学園祭でした。委員、事務局の方々に感謝します!



◇空手道部

◇RSC

ライフル射撃って、クレープ食べて。

RSCってこんなところ。

RSCは初めての大学祭参加サークルです。準備段階では「客、来るの?」という不安で一杯でしたが、いざ当日になってみると、うれしい悲鳴の連続でした。クレープは早々に完売。来てくれた人、ごめんなさい。絵ハガキの売れ行きもなかなかのもの。でも一番びっくりしたのはライフル射撃。一回だけでは満足できず繰り返し挑戦する人が続出。「こうやってハマっていくんだ。もう1回」そんな声は何度も聞こえた2日間でした。これで少しはRSCのことわかってもらえたら、それこそこの大学祭は成功です。



◇琴曲サークル 胡桃の会



## ◇放射線・情報科学科

大学祭ではC棟1階にある学科内の医療機器の紹介や簡単なゲームでお客さんに楽しんでもらいました。並行して行われた教育後援会「会員のつどい」の学科別集會では、学科の運営方針や学生の近況が報告され、国試対策と就職対策の2件が熱心に議論されました。4年生にとってはいずれも重要な問題で、就職活動と受験勉強に懸命に取り組んでおりますが、国試までの残り4ヶ月を健康に注意して頑張ってもらいたいです。3年生の臨地実習は前班が9月14日から10月30日までの7週間の日程を無事終了しました。初めての臨床経験の成果が今後期待されます。(野原功全)

## ◇医療経営管理学科

## 高校訪問レポート 一夏の高校訪問一

すでに遠い夏の報告になりますが、去る7、8、9月で高校訪問を行いました。事前に当学科のセールストークを用意し、北は岩手県から南は九州の福岡県までを、全教員が精力的に駆けめぐりました。近隣県では当校の知名度も高く、指定校の要望などもあったようです。私の担当した福岡県では、幾人かの先生から、「今度広島にも同じような大学ができたでしょ」と広島国際大学の話が出て、やはりここは西日本圏だという思いがしました。(加藤尚子)

## ◇医療福祉学科

## 風花祭が終わったら、読書と勉強の秋冬へ

風花祭は楽しめましたか？それぞれの場所・イベントでそれぞれの力が発揮されて、素晴らしい大学祭でした。

2年生は実習ガイダンスが終わり、3年次の実習の領域や施設・機関が見えてくる頃でしょうか。国家資格の取得について気にし始める学生たちもちらほら。準備が早いことにあらはれませんよ。頑張ろう。1年生にも、ゼミや実習、将来のことを考え始めている学生がいることと思います。

いろんな話を聞いて、本を読んで、いろんな体験をして、見えてくるものがあるはず。学科の実習指導室に図書が増えました。どんどん読んで下さい。

(本多 勇)

## ◇医学教育センター

## 一本学での医学教育について考えることーその3

本学の教育カリキュラム改革に関して熱心な検討が行われています。医学教育についても理想を求めて委員が努力を傾注しています。医療関連職の養成大学で、医学教育カリキュラムが如何にあるべきか？答は簡単なようですが実際は難しい問題を含んでいます。その一つは医療関連職種のおおのについて、養成所指定規

則が定められており、その内容を満足していなければ国家試験受験資格が認められないことです。その内容は現代の医療にそぐわないものとなっている部分も多くなっているため、この点を考慮することも重要とされています。(都築正和)

## ◇語学教育センター

## ドイツ語実習について

ドイツ語の講義では言語の他に、背景にある独語圏の歴史・文化・自然等もあわせて学ぶことを目指しています。その一環として、都市や城塞、絵画や音楽、人々の生活等をビデオや写真といったメディアを用いて、毎回講義中に見られるように努めています。

しかし、昨年とはただ見ているだけでなく、テキストや映像の中の料理を実際に作り、ワインやビールを飲んでみようということになりました。ドイツ語Ⅱ実習という勝手な名前を付け、調理実習室を拝借してソーセージ、ジャガイモ団子、スープなどを学生達とともに味わうことができました。今年も計画を練っている最中です。(森田耕喜)

## ◇健康管理センター

## 健康管理センターの動向

平成9年6月に大学の健康管理センターの一環として臨床クリニックが開院してから早くもこの10月で18ヶ月になりました。患者の動向、推移をみますと最初は初診者67名(大学関係85%、一般15%)でありました。本年6月は136名(大学関係50%、一般50%)で患者数も2倍になり、一般患者が半数を占めるようになりました。これも診療科目の増設とその充実、診療内容の優秀さ、そして職員の患者に対する親切と温かい態度によるものと考えられます。来年には外来数も職員の努力により3倍になると思います。(福岡和昭)

## 教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先⑥主要著書・論文どちらか1点のみ⑦本校における担当科目⑧趣味

## 寺田 眞廣(てらだ まひろ)



臨床あつての産婆(助産婦)。東京は本郷村(東京大学医学部附属助産婦学校)で育ち、オックスフォード(ラドクリフ)で武者修行。お産に臨む女性と赤ちゃんへの援助(周産期の看護)を学び、マタニティーブルーなど健康と健康障害の境界領域についても興味を持つ。「女性

の発達段階と母性イメージの変化」など。千葉県立衛生短期大学での経験もまた大切な宝物。大勢に変わりが無いからと、こだわる主張はしないけれど、道理に合わないことがあれば「NO」と言う嫌われ者。

サンバのリズムも好きだけど、バロック調がやっぱりいい。中学時代から油絵を始め、円らな線と走る姿に魅せられて乗馬をたしなむ。昔狂ったのがスキー、60(?)の手習いはフルート。24巻の「鬼平犯科帳」を読み鬼平のリーダーシップと食通に惚れる。味の幅は人間の幅か。笑うこと(笑顔)が減った自分とをみに反省するこの頃。(原文のまま掲載)

金子 純一郎 (かねこ じゅんいちろう)



①理学療法学科・助手②1970年③埼玉医科大学短期大学理学療法学科④理学療法(運動学等)⑤上尾中央総合病院⑥運動失調症状を呈した中枢神経疾患に対する上肢訓練の一例⑦演習や実習の助手⑧スキー、テニス、洗車?

澁井 実 (しぶい みのる)



①作業療法学科・助手②1962年③東京都立府中リハビリテーション専門学校④精神障害作業療法⑤小川赤十字病院(埼玉県)⑦実習等⑧スキー、テニス



加藤 尚子 (かとう なおこ)



①医療経営管理学科・助手②1963年③九州大学教育学部④医療人類学⑤九州大学教育学部⑥「病院の組織文化と看護教育」九州大学教育学部附属比較教育文化研究施設紀要、51、1998⑦医療福祉関係法規⑧水泳、自転車

相原 和子 (あいはら かずこ)



(医療福祉学科・助教授)今年3月まで国立精神神経センターでソーシャルワーカーとして勤務していました。専門領域は、社会病理学、犯罪社会学、医療社会学、精神医療ソーシャルワーク論です。当大学では、精神保健福祉論他、昨年12月に新しい国家資格として創設された「精神保健福祉士」に関連する科目を受け持っています。「現代の社会問題」(共著、相川書房)など。趣味は、金魚です。(原文のまま掲載)

日ノ下 文彦 (ひのした ふみひこ)



①臨床医学センター・助教授②1955年③東京医科歯科大学医学部医学科、同大学院医学研究科、ハーバード大学医学部病理学教室研究員④腎臓学、高血圧、臨床免疫学、一般内科⑤平塚共済病院⑥Experimental IgA nephropathy induced by a low-dose environmental mycotoxin, nivalenol. Nephron 75, 1997、糸球体腎炎の発症・進展機構(序論) - 専門医のための糸球体障害のすべて、1994⑦一般内科学や腎臓学の講義、国際医療福祉病院での内科臨床(腎臓病、透析)と同院医局長、大学クリニックの外来⑧英会話、音楽鑑賞、旅行、地の利を活かして温泉入浴も趣味にできればと考えています(大学クリニック内の伊藤雅彦先生や大橋一之先生とスバクラブの仲間を探しています)

## 第10回IUHWクイズ当選者発表

多数応募の中から正解者は46名でした。厳正な抽選により作業3年依田 学さんが第10回IUHWクイズの当選者に決定しました。正解は下記の通りです。ご協力ありがとうございました。

正解

問1. 3

問2. 2

問題

問1. ますます盛んな海外ボランティア・研修。本号に報告されたチームのうち“言葉の壁を感じなかった強者はどの医療機関を訪れたご一行?

- ①チョーライ病院 ②プロビデンス病院  
③父島診療所 ④王立子供病院

問2. 国際協力事業団との協力でケニアにいらしているのは山崎 統四郎先生。さて国際協力事業団の略称は?

- ①JIVE ②JICA ③JILO ④JANKEN



嶋田 裕之 (しまだ ひろゆき)



①医学教育センター・教授②1933年③東京大学医学部医学科、東京大学基礎医学大学院④人体病理学、神経病理学、老年病学⑤東京医科大学病理学第一講座⑥ベットのサイド・老年病学(南江堂)、1994年、病理学総論・老化(日本医事新報社)、1987年⑦病理学⑧演劇、遺跡研究

斎藤 佐和子 (さいとう さわこ)



①言語聴覚障害学科・講師(言語聴覚センター専任)②1948年③東京学芸大学大学院教育学研究科(発達心理講座)④小児の言語障害(特に言葉の遅れ)⑤埼玉県北本市立教育センター⑥子どものコミュニケーション障害(共著)

大修館⑦小児言語障害学⑧山歩き

編集後記

今回のIUHWは、風花祭の特集だけでなくもっと幅広く記事を盛り込む企画としました。出来具合は如何だったでしょうか。那須の山々の紅葉が麓に達した頃、風花祭も終わり大学全体の雰囲気も落ち着きを取り戻すように思えます。北風小僧がやってくるのも間もなくです。(清水慶昭)

リレーエッセイ

オトナのレゴ遊び

総合教育センター 今井 四郎

ゴッホの絵にはゴッホが創り上げた絵の世界があります。ニュートンは古典力学的世界像を、またユークリッドは現の世界から抽象的な幾何学の世界を創造しました。話は変わりますが、レゴという子供の遊びに使うセットがあります。衆知のようにセットは数種類のパーツ多数からなり、しかも、各パーツは構造が単純で、パーツ間の連結の仕方も極めて限られています。それなのにこれを子供に買い与えますと、子供は飽きもせず、パーツを連結し、いろいろなものを造っては壊し、また造るというようにして長時間楽しめます。レゴ遊びはパーツを連結することにより様々な構造物を造り、レゴの世界を創造する魅力ある遊びなのです。

私のパターン認知の研究はこのレゴ遊びと似ているところがあります。ただ、レゴ遊びではレゴのセットが与えられるのに対して、研究ではレゴのパーツに相当する、要素の構造と、要素と要素を関係づける構造とを自分で考案し、決める点が違います。これが終われば、研究は、要素を組み合わせでミニチュア世界を構成し、その認知心理学的世界像を創造するオトナのレゴ遊び。これで私は30年来楽しみ続けてきました。

次回執筆者：間藤方雄先生(医学教育センター)

IUHWクイズ ー第11弾ー

賞品はなんと旅行ギフト券(8,000円分)!

そろそろ餅搗き(もちつき)の音も聞かれますね

今回は、はやくこいこいお正月ということでお餅に関するクイズです。問題は4択3問、解答番号を書き込み、事務局窓口外側のメールボックスへ。全問正解者から、抽選で1名の方に旅行ギフト券を差し上げます。応募資格は本学の学生で、1人1通、〆切は12月22日。

キリトル		問1. 餅(もち)の材料として使われないものは?
学科	学年	①きび ②うるち米
名前		③もちのき ④わらび
解答		問2. 古くより地方色ある名称ですが、誤ったものは?
問1.		①柱餅(岩手県) ②やまともち(中国地方)
問2.		③ぼんだいもち(北関東地方) ④ひねりもち(山梨県)
問3.		問3. 餅(もち)とは関係のないものは?
		①桜もち ②日もち
		③ちまき ④御幣餅